

令和3年9月29日

星城大学

学長 赤岡 功 様

星城大学 外部評価委員会

委員 西村 周三（京都先端科学大学教授）

委員 金子 章道（畿央大学栄誉教授）

委員 大橋 靖雄（愛知学院大学名誉教授）

委員 濱島 正好（星城大学後援会長）

コロナ禍の為、大学自己点検評価として纏められた「教育研究年報」の送付を受け、各委員において点検を行い、意見・伺いを大学に届け、回答をお願いした。回答をもとに各委員において再度点検・評価を行い、下記のとおりのもまとめとしました。

星城大学外部評価委員会 意見

2020年度は年間とおして新型コロナウイルスへの対応にあたられたことが伺えた。そういった中においても例年の時期に点検・評価について行うことができ、各評価委員においてお預かりした教育研究年報にもとづき点検・評価を行った。

昨年度に引き続き、学長のリーダーシップのもと、様々な取り組みが行われ大学改革が継続されている。特に、入学者の定員確保、中退率の減少の結果について高い評価があった。また年報について前年までの「大学運営の仕組みと活動内容」に代わって評価機構の基準で大学の実情が詳細に説明されていることは将来につながると思う。

以下幾つか意見など列記する。

1. 少子化が進む中、学生獲得は苛烈を極めている。特にコース毎の特徴や進路を、実績をもとに資料を整えPR活動を継続的に行って頂きたい。
2. 定員充足において留学生確保は欠かせない。本年度、コロナ禍で一定以上の成果が出ていることは留学生受け入れ態勢の充実が広く告知されていることと思う。きめ細かな学生指導を教職員一同で継続的に行って頂きたい。
3. 中退者課題については、魅力ある学部像を明示し、共通認識として展開してほしい。
4. 留年者は中退予備軍でもある。中退に追い込まないためにも、学修することの意味や楽しさを学生に寄り添う形で教えてほしい。
5. 各学部、委員会、センター等で教育目標と達成すべき指標が明確で良いと思う。
6. キャリア支援の体制が充実しており、社会人となる準備がしっかり指導されている。
7. 協議会、学長会、戦略会議で運営指針が示され、組織が機能している。大学発展の為、メンバーによる更なる真摯で真剣な議論を期待する。
8. コロナ禍での大学独自の給付金等、最大限の学生への諸対応を高く評価するとともに敬意を表したい。

以 上